

# 男女共同参画推進事業報告(平成26年度実施)

男性・女性という性別の違いではなく、「一人ひとりの個性や特性を大切にしていこう」という男女共同参画の基本的な考え方を広めていくための取組として、様々な講座や研修会を開催しています。

平成26年8月28日開催

## 第1回「自分づくり講座」 ～お茶の入れ方教室～

講師：衛藤隆徳さん（日本茶インストラクター）

市内の事業所等に勤務する若手職員が、おいしいお茶の入れ方を学びました。

日頃、職場や家庭でお茶を入れる機会が少ない男性受講生が、慣れない手つきながらも楽しそうに入れているすがた、それをやさしく見守る他の受講生のすがたが印象的でした。

### 参加者の感想

- ・自分の入れたお茶を飲んでもらってすごく嬉しかった。（20代男性）
- ・お茶に関する知識が深まり、とてもよい機会になった。（20代女性）
- ・お茶について知らないことが多く、大変勉強になった。今後は、心を込めてお茶をいれたいと思う。（20代男性）
- ・参加できなかった職員にも伝えていきたい。（20代女性）



平成26年9月20日開催

## 第2回「自分づくり講座」

### ～お父さんのための絵本読み聞かせ講座～

講師：朝田栄子さん（NPO法人読書推進団体枕崎みしのたくかにと理事長）

子育て中のお父さんやお母さんが、講師が歌う“わらべうた”に合わせて親子の触れ合いを楽しんだり、画用紙で作ったりりんごの中に入った“おすすめの本”の紹介カードをもとに親子で絵本をさがして読んだり、楽しいひと時を過ごしました。

#### 参加者の感想

- ・子どもといっしょに受講できて良かった。（20代女性）
- ・お父さんが子育てにかかわってくれるきっかけとして“絵本の読み聞かせ”はいい入口になる。日曜日の方が、働く人には参加しやすい。（30代女性）
- ・いつも本選びにすごく時間がかかるので、今回いろいろな絵本を紹介してもらえて良かった。（30代男性）
- ・楽しく参加できた。たくさん読んであげたいと思う。（30代男性）



平成26年10月24日開催

### 第3回「自分づくり講座」

～国際理解講座・韓国の文化と家庭料理を学ぼう～

講師：韓胤鎬さん（県国際交流員）

市内の20～70歳代の男女が、韓国の家庭料理や韓国の家庭における男女共同参画の現状について学びました。

各班男女問わず役割を分担しながら、韓国の国民的料理チャプチェなど3品を調理し、出来上がった料理を全員で試食しました。

また、韓国の家庭についての講話では、「日本と同じく韓国でも核家族化が進んでおり、離村が増加し都市へ人口が集中してきている。韓国は儒教の国なので、昔は家庭でも女性より男性が力を持っているというのが一般的だったが、現在では女性も経済力を持つようになり、男女平等の社会になってきている」といった話があり、受講生も興味深く耳を傾けていました。

#### 参加者の感想

- ・想像でしかなかった韓国料理が、実際調理してみてとてもおいしかった。（50代女性）
- ・異国の文化等を知ることができ良い。講話の時間がもう少し取れるともっと深く知ることができる。（60代女性）
- ・調理器具が不足して困ったが、内容としては大変良かった。今日のレシピをアレンジして家でも調理できそうだ。（60代女性）
- ・大人になると、なかなか大勢で調理をする機会がないので、新鮮でよかった。（30代女性）



平成26年11月6日開催

## 「男女共同参画研修会」

～身近にある人権侵害 DV（デートDV）の正しい理解のために～

講師：谷崎和代さん（鹿児島純心女子大学准教授）

講師の谷崎先生は、「人権意識を育てるための出発点は“自分は大切な存在である、自分に人権がある“ということを確認することである。自分を大事にできれば、相手も大事にすることができるはずである。自分の気持ちと向き合いその気持ちを言語化するときには自分を主語にする『I（アイ）メッセージ』で伝えることが大切で、怒りの感情も伝えていいがなぜ怒りが生まれたのか向き合い、言語化して相手に伝えればよい、思いは伝えなければわからないのである」と話され、参加した市民や市職員は性別にとらわれず個人として尊重される男女共同参画社会の実現の重要性についての意識をさらに深めることができました。

### 参加者の感想

- ・ 生育歴も関係していると思うが、妊娠・出産し、子育ての時に子どもへの虐待へとつながるのではと感じた。自分を大事に思う気持ちを育てていかなければならないと感じた。（40代女性）
- ・ Iメッセージの大切さ、大人の役割・責任の重さがわかった。（50代女性）
- ・ 女性目線の偏った意見が多く不快だった。（40代男性）
- ・ 相手の気持ちを考えて伝えることの大切さを教えられた。Iメッセージで話せるよう努力したい（50代男性）



## パープルリボンツリーの設置

11月12日～25日の「女性に対する暴力をなくす運動」期間中，市役所市民ホールにパープルリボンツリーを設置しました。

ツリーの設置は，女性に対する暴力根絶運動のシンボルであるパープルリボンをツリーに結んでもらうことで，女性に対する暴力について考えてもらおうと実施したもので，100本を超えるリボンが市民や市職員の手によって結ばれました。

また，さらなる意識啓発を図るため，DV対策のチラシやパープルリボンバッジと相談機関カードをセットにしたものをツリー横に設置しました。



## 男女共同参画研修会

### ～セクハラ・パワハラのない職場を目指して～

講師：桂 香代子さん（女性労働協会業務第二課長）

講師の桂さんは、セクハラ・パワハラの定義や基準について具体的な事例を示しながら、「組織は十分な相談体制をつくり予防に努める。自己のコミュニケーションスタイルを見直すことも場合によっては必要である。ハラスメントに気付いたときに無関心でないこと」と話され、最後に、「全ての社員（職員）が家に帰れば自慢の娘であり、息子であり、尊敬されるべきお父さんであり、お母さんである。そんな人たちを、職場のハラスメントなんかで“うつ”に至らしめたり苦しめたりしていいわけがない」としめくくりました。

#### 参加者の感想

- ・ 何気なく掛けた言葉が、場合によってはセクハラ等にあたる可能性があることを知った。（20代男性）
- ・ ハラスメントの定義や予防、対応の方法がわかりとても参考になった。職場に持ち帰り、共有したい。（30代女性）
- ・ ハラスメントの定義を職場全体で共有し、組織として予防に努めることが重要だというお話が大変勉強になった。機会があればまた参加したい。（50代女性）



「まくらぎきハーモニーフェスティバル」  
～地域のかと家族のか 子育て支援から見えてきたもの～

講師：大脇治樹さん（NPO法人子育てふれあいグループ自然花理事長）

オープニングでは、市立図書館長の朝田栄子さんが絵本「おによりつよいおよめさん」（岩崎書店刊）の読み聞かせを行いました。あばれものの鬼が結婚し、いつしか家族のために家事や育児をがんばる“イクメン”に変わっていく姿がほほえましく「性別の垣根を越え、それぞれが自分の能力を生かしていきいきと活躍できる」といった、まさに男女共同参画社会を実現した内容でした。

大脇さんによる講演では、「子どもたちは地域や家庭から最も影響を受けて成長する。家庭内で互いの役割を認め合い、家族内で時間を有効に使うことで家庭教育の向上に努めることが重要。また、その家族・家庭を孤立させないための取組として、地域コミュニティの強化すなわち“地域のか”が必要で、それが地域の活性化につながり子どもたちが健やかに育つ環境が実現する」と話され、最後に「人は人に優しくされて育っていくことが大事。困ったときに寄り添える人、相談できる人を増やしていき、人の優しさに触れながら育っていける地域になればいい」と結びました。大脇さんが取り組んでいる木口屋集落を拠点とする自然花の活動は、性別・年代・職業等の立場を超えた多様な人々に参画する機会を与え、一人ひとりが生きがいを持って生活することを実現し、子育て支援にとどまらず、地域づくりの分野においても男女共同参画の推進に貢献しています。

また、講演終了後、地元で音楽活動を行っているRENSのボーカル新屋敷彰さんが自身が作詞・作曲を手掛けた「自然花応援歌」を披露し、そのやさしい歌声に会場は和やかな雰囲気になりました。

フェスティバル終了後には、まくらぎきハーモニーネットワーク委員会による恒例の抽選会と茶節の振舞いがありました。抽選会では、会員が持ち寄った賞品に加え、市内企業・団体から賞品の提供があり、多くの来場者に喜ばれました。

## 参加者の感想

- ・ 異なる集団を受け入れた、木口屋集落の懐の深さに感銘を受けた。誰もが住みよい地域づくりを進めていく参考になった。（60代男性）
- ・ 子育ては終わったが、たいへん良いお話しだった。60代でも何かできることがあれば協力していきたい。（60代女性）
- ・ 地域が子育てを支援、まさしく社会の宝を育て守る活動だと思う。若い世代がそのことに目を向け、働き方を考え、男も子育てにかかわることで社会の力を生み出し、向上させることができたらいと思う。ただ男女共同参画の視点を伝えるメッセージは薄かったように思う。男も子育てにかかわって、見る目が変わることをもっと語ってほしかった。（60代女性）
- ・ 様々な関わりを持つことで、豊かな心を持つ子どもが育つといいなと思った。（20代女性）

